



道徳だより

2025.10.8 号
みよし市立緑丘小学校



3年生「ふろしき」(内容項目C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度)

ねらい

今回の授業では【ふろしきの実演を見て、そのよさに興味をもった「わたし」の驚きに共感し、日本の伝統や文化のよさに気づき、それらを継承し、発展させていこうとする心情を育てる】ことをねらいとして授業を進めました。

授業の様子

はじめに、ふろしきを見て気付いたことを発表しました。「これはなんだろう」「かわいいな」「大きなハンカチかな」「きれいだな」など初めて目にするふろしきに興味津々でした。今日の道徳では「ふろしきはどうして今まで受け継がれてきたのかな」というめあてで考え合うことを伝えました。教材を読み、主人公の「わたし」の気持ちや思いを考えていきました。



教材文の概要

主人公の【わたし】はダンスの中にあるきれいな布を見つけ、母親から「これはふろしきよ」と教えてもらいます。その後、本、重箱、大きなビン、スイカなどを次々と包んでいきます。包み方を変えるとどんな形の物でも包むことができたり、肩やひざ掛けになったりすることも知ります。【わたし】は、ふろしきが魔法の布のように思えてきます。早速友達に知らせたり、もっといろいろな使い方ができないか、みんなで話し合ったりしたいと思いました。

お母さんが包むところを見て、私は、どんなことを思ったのか問うと「こんなにいろいろなものを包めるんだ」「便利だな」「役に立つ」「魔法だな」と「わたし」に共感していました。実際にふろしきでバスケットボールを包む体験をして、初めて見る子どもたちはその思いを強く感じる事ができました。友達にふろしきのよさを伝えたいと思ったのはどんな気持ちからか問うと、「使ってほしい」「すごい」「いろいろ入れられて持ちやすい」「便利」「昔の伝統を伝えたい」と答えていました。そのあと、今使っている「エコバッグ」と比べたり、昔から伝わる今でも使われている道具について思い出しながら、日本の伝統や文化のよさについて見直すきっかけとなりました。どこかでふろしきを見かけたら、今回の授業について思い出していただき、ご家庭でも古き良き日本の伝統文化について話題にしていただけるとありがたいです。

参加された保護者の方の感想

「普段馴染みのないふろしきについて、積極的に意見を出し合っている様子に成長を感じました。今日学んだことを活かして、いろいろな角度から考えられるといいと思います。」

「友達とペアで意見を伝え合ったり、保護者と一緒に話し合ったりする場面があり、子どもが人の考えを聞いて自分の考えを広げていく様子に、成長を感じました。家ではなかなか見られない表情や言葉もあり、親としてもうれしく思いました。先生がエコバッグとふろしきを比べながら、「どうしてふろしきが今も受けつがれているのか」を考える時間をとってくださったことも印象的でした。エコバッグも便利ですが、ふろしきには相手を思いやる心や、工夫次第でいろいろな使い方ができる楽しさがあることを知り、子どもと一緒に学ぶことができました。」

